

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

耐熱形漏えい同軸ケーブル及び耐熱形同軸ケーブル

JCS 5501 : 2023

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

2023年9月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 耐火・耐熱電線専門委員会の審議によって改正したものであり 2023 年 9 月 29 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

ページ

1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類, 適用周波数及び記号	1
4 特性	2
5 材料, 構造及び加工方法	3
5.1 内部導体	3
5.2 絶縁体	3
5.3 外部導体	3
5.4 シース	3
5.5 耐熱層	3
5.6 波付金属管がい装	3
6 試験方法	3
6.1 外観	3
6.2 構造	3
6.3 導体抵抗	4
6.4 絶縁抵抗	4
6.5 耐電圧	4
6.6 特性インピーダンス	4
6.7 減衰量及び結合損失	4
6.8 絶縁体及びシースの引張り	4
6.9 加熱	4
6.10 難燃	4
6.11 耐熱特性の絶縁抵抗	4
6.12 耐熱特性の絶縁耐力	4
6.13 耐熱特性の燃焼性	5
6.14 耐熱特性の電圧定在波比	5
6.15 発煙濃度	5
6.16 燃焼時発生ガス	5
7 検査	5
8 製品の呼び方	5
9 表示及び包装	6
9.1 ケーブルの表示	6
9.2 包装の表示	6
9.3 包装	6
解説	7

耐熱形漏えい同軸ケーブル及び耐熱形同軸ケーブル

Heat proof leaky coaxial cables and heat proof coaxial cables

1 適用範囲

この規格は、主に無線通信補助設備等に用いる耐熱性能をもつ 50 Ω 耐熱形漏えい同軸ケーブル及び 50 Ω 耐熱形同軸ケーブル（以下、ケーブルという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版を適用する。

JIS C 3005	ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法
JIS C 3101	電気用硬銅線
JIS C 3102	電気用軟銅線
JIS C 3108	電気用硬アルミニウム線
JIS C 3501	高周波同軸ケーブル（ポリエチレン絶縁編組形）
JIS H 3100	銅及び銅合金の板及び条
JIS H 3300	銅及び銅合金継目無管
JIS H 4080	アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管
JIS H 4090	アルミニウム及びアルミニウム合金の溶接管
JCS 7504	電線・ケーブル耐熱試験方法
JCS 7508	高難燃ノンハロゲン性能試験方法

3 種類、適用周波数及び記号

種類、適用周波数及び記号は表 1 による。

表 1—種類、適用周波数及び記号

種類	適用周波数	記号 ^{a)}
耐熱形漏えい同軸ケーブル	150 MHz, 260 MHz 及び 400 MHz	HR-LCX
耐熱形同軸ケーブル	150 MHz, 260 MHz 及び 400 MHz	HR-CX
注 ^{a)} 記号の意味は、次による。 HR : 耐熱 L : 漏えい CX : 同軸ケーブル		